

平成25年度主催・共催事業報告

研修会
レポート

視察研究会に参加して 加藤 國福

7月9日(火) 参加者19人

今回、会津若松市の「湯川をきれいにする会」の方々と交流を深めることができ、とても有意義だった。湯川は郡山市と会津若松市の境界にある会津布引山に源を発し大川へ注ぐ川幅が狭く短い川であるが、川の整備は無論、有効活用に力を入れていることに感心した。

ボランティアの会員は25名と少ないが、意欲に満ちた活動報告と実践にはすばらしさを感じた。前日、前々日に大雨が降ったにもかかわらず、空缶やプラスチックゴミが非常に少なく、また、川を教育実践の場として身近に観察できるビオトープ(メダカの楽校)を自分たちで作り、自然の営みを体感できる環境を整備したことはすばらしい。メダカとホタルが同時に観察できる場所はごく少なくなっている。近くの学校でメダカやホタルをふ化させ、幼魚虫を放流する体験、これらの天敵となるアメリカザリガニを釣らせて生態系を維持させる取り組みが印象に残った。

とても有意義な研修でした。



水質・生物調査

6月22日(土)・8月25日(日)
10月20日(日)・12月1日(日)
桜づつみ・荒川橋下流・地蔵原堰堤



5年目となる定点の環境調査を、例年のように4回行いました。河川環境保全のための資料収集を目的に、役員と環境調査研究所の所員が、水質、水生生物、陸上動植物の種類と数を調べました。今年は12月1日の桜づつみ公園で、18種類の野鳥が観察でき、サケが盛んに産卵、めったに見られないモズクガニも確認できました。荒川の自然の豊かさを感じました。

桜づつみ公園内に荒川案内板設置

荒川桜づつみ河川公園に、荒川と沿線の名所旧跡などが一目でわかる案内板ができました。

この案内板は、桜づつみ公園を訪れた方々に素晴らしい荒川を知っていただくため、ふるさとの川・荒川づくり協議会が企画し福島市が制作したものです。(1.3m×4m) 桜づつみ公園のある吉井田地区町内会連合会で、平成25年12月18日に除幕式を行いました。



交流会 Networking event



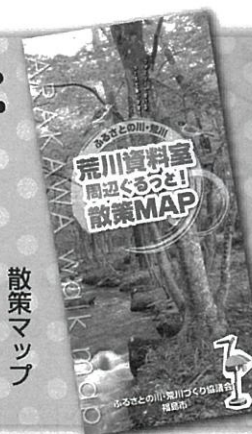
仙台市河川愛護会との交流会

11月6日仙台市河川愛護会40人が大型バスで訪れました。役員が対応し、午前中は地蔵原堰堤まで散策したり資料室を見学しました。午後は吉井田支所大会議室に会場を移し、お互いの会の活動の紹介や悩みなど活発に意見交換を行い、有意義な懇親会となりました。

荒川散策マップ・パンフレット作成

荒川づくり協議会事業活動の一環として助成金を活用し、散策マップ及び児童・生徒用パンフレットを作成しました。荒川への来訪者も多くなり、配布し喜んで利用していただいております。助成金ありがとうございました。

散策マップ

児童・生徒用
パンフレット